

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年9月22日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大仙市	代表者名	老松 博行
担当者部署	DX推進課	連絡先電話番号	0187-63-1111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	今 暁
住所	014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	連絡先部署	連絡先電話番号	連絡先E-mail
担当者氏名			

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	研修内容に当市の意向を大いに反映していただき、わかりやすく講義していただけた
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年9月3日	10時00分	15時30分	0:00	240
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員	80 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	「オープンデータ」の庁内認知度が低く、重要性や用途などが理解されていない。そのため、各課から提出されるデータに情報が不足していたり、今後の情報更新に毎回労力を割くことが予想される。また、公共データの「オープン・バイ・デフォルト」への理解や、データ連携・利活用の有効性の理解が少なく、各担当でのデータの保存方法や作り込み方法が担当者ごとの管理となっても特段問題視されておらず、課内での情報検索や庁内でのデータ収集において時間を要しており、データ活用への認識が薄い。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	オープンデータの庁内認知度の向上、データ利活用の意識の向上、日常業務における機械判読性を意識したデータ作成	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータの意義、活用事例の紹介の講義、データの作り方のエクセル演習	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	オープンデータに関する職員の認知度向上、活用事例、活用方法の理解度向上、データ作成時の留意すべき認識、エクセル操作技術の向上	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	各課の行革推進チーム員、DX推進員への研修であったが、受講した各職員が課内で知識や技術をどのように共有できるか、職員全員がオープンデータやデータ利活用を意識して業務にあたることができるか、具体的なきまりや方法が確立できていない。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 別添します	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	個人情報を含まない庁内データの原則公開、庁内データ標準化、データ作成・保存ルールのガイドラインに従ったデータ管理	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

